令和元年度　　小規模多機能型居宅介護「サービス評価」　総括表

法人名	特定非営利活動法人 一期一会	代表者	川上道子
事業所名	風の丘	管理者	山下貴子

法人・事業所の特徴	一期一会は、この愛甲原で「住み慣れた地域で最後まで暮らしたい」を応援するため、地域福祉を展開しています。通所介護・小規模多機能型居宅介護・有料老人ホーム・居宅介護支援・配食サービス・生活支援サービス等を提供しつつ、地域に根ざしたサービスステーションとしての機能を持つ事業所を運営しています。地域密着サービスがめざす地域生活の継続支援と、事業所と地域との関係強化に取り組んでいます。

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援ｾﾝﾀｰ	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	3人	0人	1人	1人	0人	3人	0人	10人

項　　目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A．事業所自己評価の確認	事業所自己評価での改善計画を職員は周知し、実行する。	事業所自己評価を全職員が周知し、実行できるように職員会議や書面を通じて伝える様努めた。	今の評価の仕組みだと、事業所が自己評価をして、改善計画を勤務形態の異なる全職員が周知し、取り組むまでに時間がかかる。	・自己評価から見えてきた課題について、改善計画を常に意識し実行できるよう、職員会議などでチェックしながら進める。
B．事業所のしつらえ・環境	地域に開かれた事業所であるよう今後も努めていく。泊まりの部屋や事業所内の整理整頓を行う。	ボランティアさんが来やすい雰囲気づくりを心掛けた。宿泊スペースにカーテンを増やし、荷物整理を行い、整理整頓に心がけた。	・用事もなく事業所に入るのは遠慮がある。 ・壁飾りも変化があり、いつもきれいにされていると思う。	・ご家族や地域の方、ボランティアさんが来やすい雰囲気づくりや、ふれあいの時間が持てるよう企画する。
C．事業所と地域のかかわり	地域のイベントに関わる機会を増やす。	年に一度であるが、愛甲原フェスでは、地域の方と法人が一体となり企画し、利用者に楽しんで頂いた。	・風の丘という名前は、地域の人に知られていると思うが、事業所が何をやっているかはわかりにくい。	・地域の方向けに、風の丘の事業内容を紹介する学習会開催やニュースを配布する。 ・事業所の職員が地域のイベントに参加しやすい様、情報の把握に努め、顔見知りを増やす。

D．地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域交流の場を広げ、地域と交流の機会を増やす。	地域のミニサロンや、CoCo てらすへお連れしているが、利用者の体調などもあり、回数は減っている。季節によるが、散歩やスイーツ外出は行っている。	前は、よく散歩しているところを見かけたが、今はあまり見かけなくなった。自分の家の前は職員さんが付き添って歩いている姿をよく見かける。	・今後も、散歩や外出企画は続けていく。 ・ご近所の心配な方のかかわりについても、運営推進会議で可能な限り報告していく。
E．運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議で事業所の取り組みを説明し、改善点や課題等を検討する。	毎回、取り組みについては報告してきた。	小規模多機能型居宅介護に対する理解が深くないと、意見など言うのも難しい。風の丘がどういうところか知りたい人もいる。	・皆様の協力で、風の丘の見学会を企画する。
F．事業所の防災・災害対策	防災訓練を継続し、地域の方にも参加してもらうよう働きかける。	防災訓練は年に 3 回実施してきた。地域の方には年 1 回呼びかけるが、此の所参加がない状況。 地域の避難訓練に参加するのは、日程的に厳しかった。	地域の避難訓練にも参加してほしい。 実際に災害が起きた時、福祉避難所として、どこまで何ができるか、整理する必要もある。	・計画的に防災訓練を実施し、様々な災害を想定したマニュアルを全職員が共有出来る様にする。 ・地域の防災訓練に参加する。